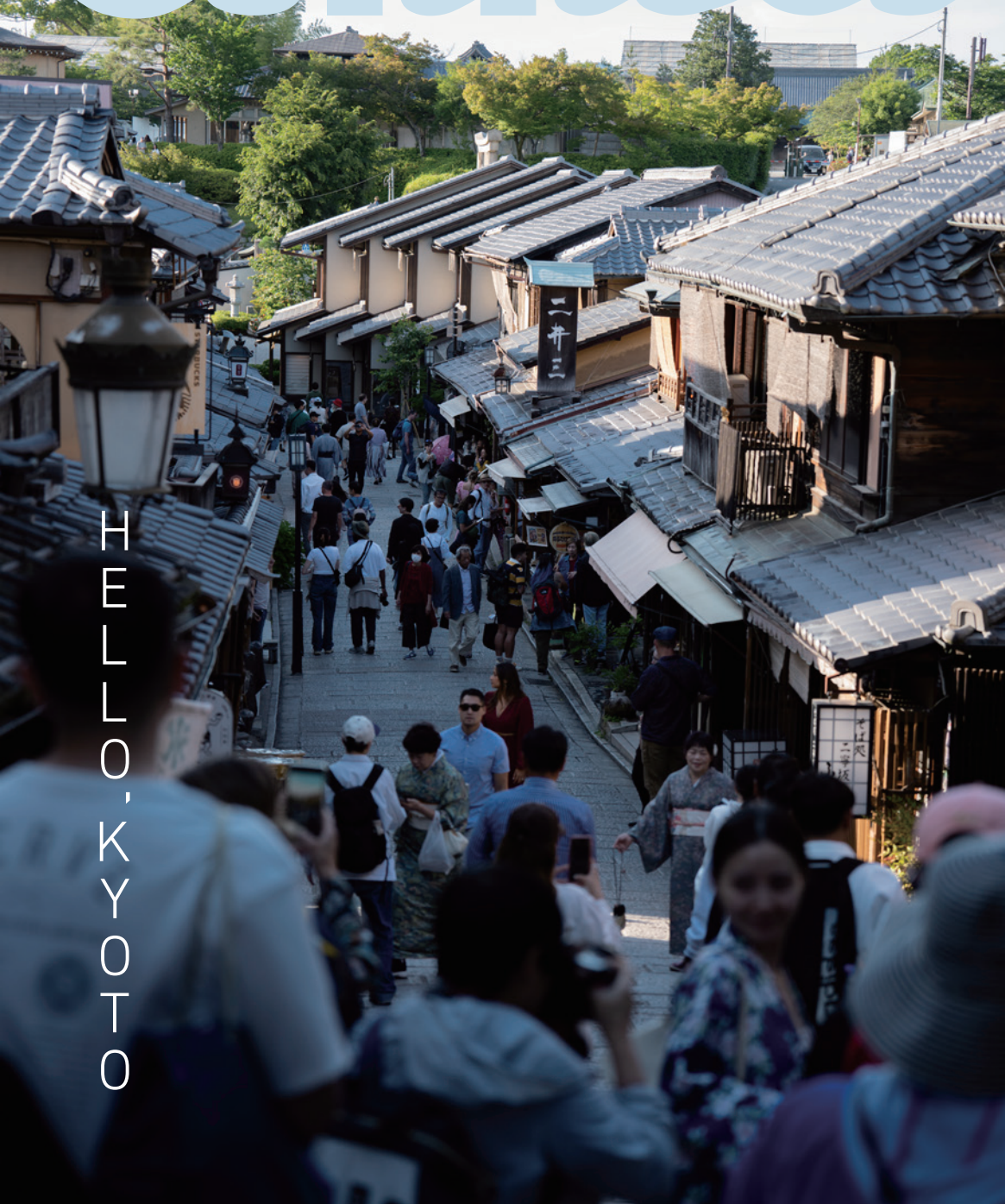


Connect

HELLO, KYOTO



書院・能舞台

書院は対面所と白書院で構成され、桃山時代に発達した豪華な書院造の様式。国宝にも指定されている。能舞台は南北に二つあり、こちらは「南能舞台」と呼ばれている。

正面に描かれた松の絵は隠し絵の手法がとられ、縁側からだと思いが対面所の中から見るとハッキリ見えるから驚いた。

これは上座から良く見えるようにってことなんだって。原則非公開だが、月に数日公開する日があるのでそのタイミングを狙ってみよう。

もしお寺の住職さんと行くことがあれば、公開日じゃなくても見れるかも？

きよと 京都

今年が親鸞聖人が誕生して85年、そして浄土真宗が開かれて80年となる年を迎えた。浄土真宗本願寺派の本山である西本願寺では、その節目を記念して「親鸞聖人御誕生85年・立教開宗80年慶讃法要」という大きな法要行事が開催された。

お香や地獄、お花に雅楽、仏教に関連するお話をしてきたけれど、ついに来ちゃった！そう、京都に！空知南組広報部もこの記念すべき年に便乗し、観光客で賑わう京都へ取材に行ってきた。ごく一部ではあるけれど、西本願寺を中心にお坊さんがオススメするスポットを案内しよう。

HELLO, KYOTO
THINGS TO GO TEMPLE FOOD SHOP ACCOMMODATION SIGHTSEEING



唐門

桃山文化を代表する国宝建造物。
約40年ぶりに修復され、輝きを取り戻した。
孔雀や獅子など100点余りの豪華な彫刻が施されており、日が暮れるのを忘れて見とれてしまうほどの美しさから、「日暮門」(ひぐらしもん)とも呼ばれる。



西本願寺と周辺を案内。

西本願寺

本願寺には「阿弥陀堂」と「御影堂」という二つの本堂が左右に並んで建っている。どちらも国宝に指定されている。
こちらの御影堂は東西48メートル、南北62メートル、高さ29メートル。
441畳もの広さを有しており、外観も内部も迫力満点。
中央に宗祖・親鸞聖人の木造を安置している。



飛雲閣

金閣、銀閣とともに京都三名閣のひとつ。

三層からなる楼閣建築で、二層、三層と建物は小さくなり、左右非対称ながら巧みな調和をもつ名建築として知られている。

全体的に柱が細く、障子の多いことから、空に浮かぶ雲のようなことからこの名が付けられたと言われている。

こちらも国宝に指定されているが、通常は非公開。



京都市水族館

京都市下京区観喜寺町 35-1
日により異なるため、HPをご覧ください。
一般 2,400円 高校生 1,800円
中学生・小学生 1,200円 幼児（3歳以上）800円
休館日無し



亀屋陸奥



本願寺の正面は門前町と呼ばれ、江戸時代は本願寺の境内地であった。お香屋、和菓子屋、仏具店など多くの老舗が軒を連ねている。安土桃山時代文禄3年(1594)創業の薫玉堂のお香「京のせせらぎ」の香りは最高すぎるし、亀屋陸奥の松風は独特の食感でなんだか懐かしい味。石山合戦(1570-1581)で兵糧だったとか。お坊さんが勉強する「伝道院」は京都市指定文化財で、浄土真宗宗門の龍谷大学・大宮キャンパスは国の重要文化財にもなっている。他にも周辺には京都市水族館や、京都鉄道博物館があり、子供も楽しめるスポットがいっぱい。本願寺に参拝したら、周辺をブラブラ歩いてみよう。何か発見があるかもしれない。

香老舗 薫玉堂

京都市下京区堀川通西本願寺前
075-371-0162
9:00 ~ 17:30 第1・3日曜日 年末年始定休



龍谷大学大宮キャンパス

京都市下京区大工町 125-1
075-343-3311
無料。散策自由。(※要確認)



京都鉄道博物館

京都市下京区観喜寺町
10:00 ~ 17:00 *入館は16:30まで
一般 1,500円 大学生・高校生 1,300円
中学生・小学生 500円 幼児（3歳以上）200円
休館日毎週水曜日・年末年始(12/30 ~ 1/1) ほか
※祝日、春休み、夏休みなどは開館



京都を歩いて、のれんを見よう。

京都を歩くと、様々なのれんが目に入る。

のれんの歴史は古く、平安時代には現代と同じ形が存在したことがわかっている。

(※起源は諸説あり)

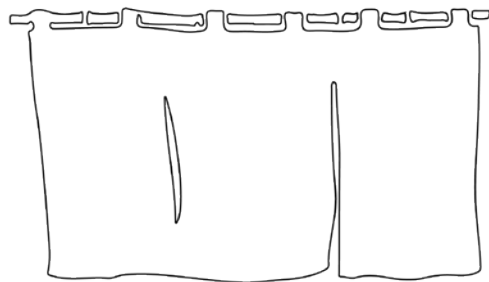
暖簾という字の如く、元々は日光や雨を遮る暖かい簾として使用されていた。それが徐々に商売道具のひとつとして発展したが、識字率が低い時代は紋や模様が描かれた。


さらに時代と共にデザイン性と染色技術が高まり、江戸時代には文字が入った「広告」や「看板」としての役割が定着した。

のれんは日本独自の文化として、のれんが掛かっていないと営業していないという日本人独特の解釈にも影響を与えている。

京都を歩いた時は、のれんを見てみよう。業種によっても色が違うそう。現代では様々な素材や英語のものも存在する。

それぞれ掲げられたのれんからは、刻まれた歴史の匂いがするだろう。





今年はお親鸞聖人が京都日野の里でお誕生になってから850年にあたります。本山本願寺では御誕生850慶讃法要を、宗祖の御誕生をお祝いするとともに浄土真宗のみ教えをお説き示してくださったことへの感謝のおこころでお勤めになりました。

親鸞さまは養和元年（1181年）九歳の春、叔父にあたる日野範綱につれられ、比叡山延暦寺門跡寺院であります京都粟田口にあります青蓮院で得度され範宴という名をいただきました。青蓮院得度の師匠は慈円和尚です。藤原摂関家出身で天台宗のトッブを4回もつとめた方です。

得度とは本来の意味は迷いの世界を超えて悟りの世界へ渡ることです。度とは渡るといふ意を表しています。これを転じて、人が出家して鬘髮を剃って僧侶となることをいいます。古来得度は律令制度で規定されていましたが鎌倉時代には国家管理がゆるやかになり、師匠の坊で得度式を執り行い僧侶となりました。とはいえ官によって僧侶と認められることから、今なら国家公務員としての僧侶といえましょう。

さて、親鸞さまの得度の動機は何であったのでしょうか。曾孫にあたる本願寺第三世覚如上人が執筆された親鸞聖人の伝記では、多くの人々を導くため仏教を広く説き伝えようというお心を起さされたことと述べられています。

このように、親鸞さまの御誕生とお得度がなければ、鎌倉時代から変わることはない生きることの辛さを抱える私たちは、誰でも分け隔てなく導き救う阿弥陀様のみ教えに出会うことは難しかったかもしれません。現在の青蓮院には親鸞さまがお得度をされた部屋と剃髪した髪の毛を納めたお堂（植髮堂）がございますので、親鸞さまのご遺徳と往時のこと偲びつつ一度訪ねてみてはいかがでしょうか。

このように京都は親鸞さまゆかりの地であるとともに、様々な歴史文化の中心的な都市であります。京都での思い出は様々にありますが、当時大学受験で訪れた京都で強く印象に残っているのは京都タワーです。大阪伊丹空港からバスで到着した京都駅前で見えに飛び込んできた白いロウソクのような姿は、京都のイメージと合わないように感じましたが案外馴染んでいるようにも思えました。

京都に着いた私は早速地上100メートル近くにある展望室に上りました。すると東西本願寺はもとより、古都京都が360度見わたせる大パノラマの世界にとても驚きました。

以来、北海道から京都へは幾度となく訪れていますが、空路大阪へ着いてのち高速バスやJRで京都へ向かうときに、羽柴秀吉が明智光秀と戦った天王山を越えたあたりより京都方面に視線を向けると、あの白い京都タワーが京都の町並みに浮かぶように見えてきます。ああ、京都にやって来たなと心が少しざわめくのです。

京都タワーは今から58年前、京都を照らす灯台をイメージして作られたそうです。灯台は航行する船を迷うことなく目的地に導くのがその働きです。同じように仏法も私が抱える無明の暗闇を照らし、真に向かうべく道を教え示して下さいるものです。是非、京都タワーはもとより、本願寺にご参拝いただいて親鸞さまがお説き下さった浄土真宗のおこころに出会っていただきたいと願っています。

高橋宗瑛 由仁町 本覚寺 住職



DIHARMA

親鸞聖人のお得度と
京都の思い出

法話 高橋宗瑛



天台宗 青蓮院門跡
〒605-0035 京都府京都市東山区粟田口三条坊町 69-1
075-561-2345

拝観時間 9:00~17:00(16:30 受付終了)

拝観料 大人 600円 中高生 400円 小学生 200円 寺院団体 (10名以上) 500円



青蓮院

部屋に入った瞬間、ビビットな青い蓮に目を奪われた。国宝の青不動が有名な青蓮院だが、今はこの現代的な襖絵が SNS で大きな話題を呼んでいる。趣ある建物に現代アートが不思議とマッチしている。襖絵のある建物を出て、遠近感が狂うほど大きなクスノキのある庭を抜けると親鸞さまの幼い像がある。その奥には法話で紹介された親鸞さまゆかりの植髪堂が。数百年の歴史と現代の融合。いや、現代の私達も歴史の一部であることを感じさせる。脈々と積み上げられてきた歴史が人の意識をつかんで離さない。



5

今宮神社の旧参道に店を構え、知る人ぞ知るあぶり餅のお店。創業1000年以上の老舗で、なんと平安時代から現存し、飲食店としては日本最古を誇る。京都らしい雰囲気満喫できるので、京都に来たという気分を盛り上げてくれる。提供される商品はあぶり餅ただひとつ。餅の焼けた香ばしさと白味噌の甘みがマッチして美味しい。一和の店舗に向かい合うように、あぶり餅のお店「かざりや」がある。こちらは江戸時代創業で、見た目こそ似ているが味が微妙に違うので、食べ比べをオススメする。どちらもおかわりしたくなるほどベロッと食べれちゃう。



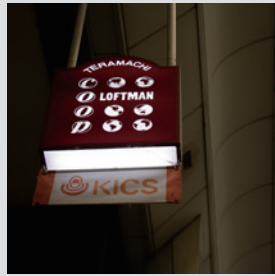
ABURIMOCHI ICHIWA

あぶり餅 一和 (一文字屋和輔)
京都府京都市北区紫野今宮町 69
水曜定休
9:00 ~ 18:00



4

京都4店舗、大阪3店舗、東京に1店舗を構え、関西エリアで絶大な支持を誇る老舗セレクトショップ。「高機能デイリーウェアを日常に」をコンセプトとし、Patagoniaなどをアウトドアブランドを中心に取り扱う1階。2階にはCOMME des GARCONSなど、服好きを唸らせるデザイナーズブランドを核に、レザーシューズなど上質で遊び心の効いたスタイルを提案する2階。寺町商店街の中にあるので、緊張せずに入れる開かれた洋服屋さんの印象。様々な年齢層の方や観光客にも親しまれている。こちらは正教寺(美唄市)副住職の元職場なんだから。



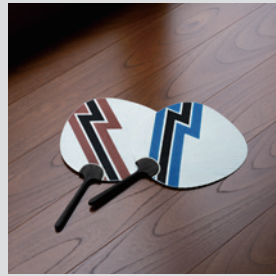
LOFTMAN COOP KYOTO

ロフトマン コープ 京都
京都市中京区円福寺前町 280
平日 12:00 ~ 20:00
土日 11:00 ~ 20:00



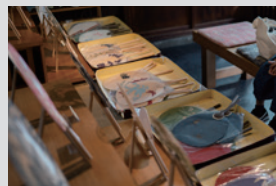
3

元禄2(1689)年創業、京うちわの阿以波。うちわ面と柄の部分に別作り。後から柄を差し込む”差し柄”という構造が特徴。うちわの骨となる竹の加工から紙の張り合わせ、仕上げまで全て手作業だ。紙や柄の材料は国産にこだわっている。切り絵細工を施した”両透かし”や、実用的なものまで様々に揃っているが、今回購入したのは”木版うちわ”。江戸時代から残る木版を使い、伝統的な版画の技法で仕上げています。稲妻の現代的でポップなデザインが、100年以上前の図柄だと知ってビックリ。お土産や贈り物にハンドメイドのうちわだなんて乙だよね。



KYOUCHIWA AIBA

京うちわ 阿以波
京都市中京区柳馬場通六角下るの井筒屋町 422 日曜日・祝日定休 (4月~7月は18:00まで無休営業)
9:00 ~ 18:00



2

明治8(1875)年創業の日本で一番古い歴史を持つ手作り茶筒の老舗メーカー。茶筒は鉄力(ブリキ)、真鍮、銅の3つの素材でラインナップされ、毎日使用し手のひらで撫でると、色合いが変化し独特の光沢やツヤが出てくる。経年変化を楽しむと共に、使う人の歴史が刻まれるようだ。驚いたのは蓋を茶筒の口に乗せるだけですーっと閉まる精密さ。まさに職人技で、用と美を兼ね備えた逸品で間違いない。自分用にはもちろん、贈答品としても最高だろう。下の写真は現代の用途に合わせた鉄力の珈琲缶。見た目は茶筒と同じだが、真鍮性のスプーンが付く。



KAIKADO

開化堂
京都市下京区梅湊町 84-1
日曜定休
9:00 ~ 18:00



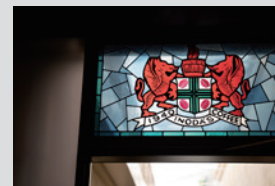
1

京都の朝はイノダコーヒの香りからというフレーズがあるほど、京都の朝といえばここ! ネルドリップコーヒーとレットロな空間を楽しむ喫茶店。早朝から行列が絶えないが、正装したスタッフを迎えられ、朝から特別な時間を堪能できると考えると並ぶ価値あり。朝限定の「京の朝食」は、ハムとスクランブルエッグ、サラダが盛り付けられたプレートに、サクサクのクロワッサンとブレンドコーヒーが付く。朝はあまり食べられないという方にはサンドイッチがオススメ! 市内中心部にあるのに緑を眺めながら静かに過ごせるテラス席も備えている。



INODA COFFEE

イノダコーヒ本店
京都市中京区道祐町 140
年中無休
7:00 ~ 18:00 (L.O17:30)



京都で必ず行くっておくべきスポット。

京都のおすすめを挙げるとキリがない。王道なお店から、穴場、隠れ名所、果ては誰も知らないようなものまで。今回は実際に訪れたお店を中心に、改めて感動したものを紹介しよう。もう一度行きたい。何度でも行きたい。そう思わせてくれる京都がそこにある。



800年以上の歴史がある京都最古の禅寺である建仁寺。祇園という京都一の花街の中にありながら、境内は別空間のように落ち着いた雰囲気だ。国宝の風神雷神図屏風が有名だが、重要文化財である海北友松が描いた雲龍図も見逃せない。不思議な名前の○△□乃庭は、禅宗の四大思想を象徴したものと言われる。庭の前で腰を下ろすと、ふっと目を閉じ自然を感じたくなる。一休みにもおすすめ。

KENNINJI

大本山 建仁寺

京都市東山区大和太路通四条下
小松町 584 10:00 ~ 14:30 受付
終了 (17:00 閉門) 一般 600 円
中高生 300 円 小学生 200 円 ※
小学生未満のお子様は無料

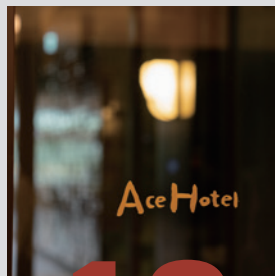


アジア初となるエースホテルは、リニューアルしたばかりの商業施設「新風館」内にオープン。和と洋のカルチャーとデザインが融合し、他に類を見ないオリジナリティあふれる空間だ。とにかくめっちゃくちゃかっこいい！誰でも出入り可能なロビーは、多種多様な人種がそれぞれの時間を過ごしている光景はまさに「今」の京都なのだろう。大音量の音楽と至る所にアート作品が並んでおり、新たな京都の名所だ。同ホテル内のスタンプタウン・コーヒー・ロースターズは初の海外出店。

ACE HOTEL KYOTO

エースホテル京都

京都市中京区車屋町 245-2
075-229-9000
<https://jp.acehotel.com/kyoto/>



意外と知られていないが京都は牛肉文化の街だ。すき焼きやしゃぶしゃぶの老舗も多い京都において、独自のスタイルを貫き続けるのが祇園にある「安参」。安参にはメニューが無い。席に座ってお酒を頼んだ後は、刺身や焼き物など料理が次々に出てくる。肉の部位から食べ方、食べる順番まで丁寧に説明してくれる接客は素晴らしい一言。大量のネギとからしを絡めて食べるお肉はこんなに美味しいのかと、編集部はただただ感嘆した。最後は名物のテール煮込みで、お腹も心も幸福感で満たされる。京都の食事に迷ったら、少し背伸びしてみてください。



YASSAN

祇園肉割烹 安参

京都市東山区祇園町北側 347
日曜・祝日定休
予約は座敷席のみ3人から
18:00 ~ 22:30



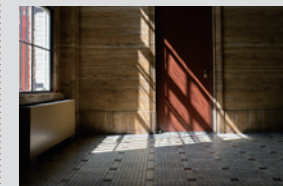
国内外のアートを紹介してきた「京都市美術館」。鉄筋コンクリートの近代建築に、お寺のような屋根をのせた特徴的な外観で、現存する公立美術館としては最も古い建物だ。老朽化のため、3年前に現在の名前でリニューアルオープン。以前の姿を残しつつ、新たな様相を引き出すというコンセプトのもと、現代的なアート空間に生まれ変わった。伝統と革新が交わり進化する、まさに「京都」を体現するような美術館。その存在感は、建築そのものもアートだと気がつく。ミュージアムショップやカフェも新たに設けられ、お土産探しも楽しむことができるだろう。



KYOCERA MUSEUM

京都市京セラ美術館

京都市左京区岡崎円勝寺町 124
月曜日 * 祝・休日の場合は開館/
年末年始 (12月28日 ~ 1月2日)
10:00 ~ 18:00



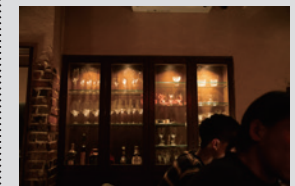
木屋町通から大豊ラーメンの路地に入り、「Side B」の文字のネオンサインが目印だ。インターホンを押して入店させてもらうのだが、誰でも入れるのでご安心を。薄暗い店内は最高にかっこいい、この雰囲気でお酒は尚美味い。お酒が苦手な方はノンアルコールカクテルも作ってくれる。何も宣伝や発信をしていないお店なのに、SNSの口コミで海外のお客さんが増えたと話していた。以前マスターが経営していたイタリア料理店で、警報寺(長沼町)住職が学生時代にバイトをしており、今でも京都に来た際には会いに行く長年の付き合いなんだそう。



SIDE B

サイドビー

京都市中京区下樺木町 191-7
営業時間 20:00 ~ 翌 5:00



Connect

【くうなん広報誌コネクト】

Vol.006 2023年7月発行

発行／空知南組
編集／空知南組広報部

く う な ん

探 索

くうなん公式ホームページはこちら



私たちは北海道南空知地区を拠点として活動する浄土真宗本願寺派寺院の団体「空知南組」、通称「くうなん」です。

Connect（コネクト）という誌名は、くうなんのスローガンである「つたわれつなぐれ」が由来となっています。

Editors TAKUYA KANNO
HIDETOMO SUGITA
TATSUTO NAGAOKA
Designer HIROYUKI YAMAZAKI